

# 2023 年度 計算力学技術者（CAE 技術者） 1・2 級認定試験のご案内



一般社団法人日本機械学会  
計算力学技術者資格認定事業委員会

後援：日本機械工業連合会、日本産業機械工業会、日本電機工業会

協力：本事業委員会 HP 参照

協賛：本事業委員会 HP 参照

<b>1 趣旨</b> .....	<b>1</b>
<b>2 固体力学分野の有限要素法解析技術者（1 級および 2 級）</b> .....	<b>3</b>
2.1 実施概要 .....	3
2.2 ソフトウェア使用経験認定規定（固体） .....	5
<b>3 熱流体力学分野の解析技術者（1 級および 2 級）</b> .....	<b>6</b>
3.1 実施概要 .....	6
3.2 ソフトウェア使用経験認定規定（熱流体） .....	8
<b>4 振動分野の有限要素法解析技術者（1 級および 2 級）</b> .....	<b>9</b>
4.1 実施概要 .....	9
4.2 ソフトウェア使用経験認定規定（振動） .....	11
<b>5 受験手続</b> .....	<b>12</b>
5.1 認定までの流れ .....	12
5.2 受験申請 .....	13
5.3 認定試験料・認定登録料 .....	14
5.4 試験会場 .....	14
5.5 受験会場での注意事項 .....	15
5.6 受験時に特別な配慮が必要な方へ.....	15
<b>6 認定証の有効期限と更新</b> .....	<b>15</b>
<b>7 お問い合わせ先</b> .....	<b>16</b>

## 1 趣旨

### ■ 趣旨

高性能かつ廉価で使い易い PC や OS が普及し、様々な汎用計算力学ソフトウェアが簡単に利用できるようになり、計算力学のユーザー層が急速に広がっています。一方、グラフィカル・ユーザー・インターフェースが整備されてデータ入力が簡便になり、可視化技術の進歩によって解析結果がきれいに表示されるようになってきたとはいえ、計算力学ソフトウェアをブラックボックスとして利用して信頼できる解を得ることはまだできません。一見するととっても美しい解析結果が得られたとしても、境界条件の設定間違い、不適切な要素分割、あるいは不適切なアルゴリズムの選択などによって、全く見当違いの解析結果を得ているかもしれないという危険性を常にはらんでいます。力学計算は解析対象の性能や安全性などに直結する重大な任務を担っており、知らずに誤った解析結果を採用してしまうということは大きな損失につながります。このような状況において計算力学解析結果の信頼性を担保するためには、計算力学ソフトウェアの品質保証に加えて、計算力学技術者（CAE 技術者）の力量管理が大変に重要であると言えます。

本会では、以上のような認識のもとに、2003 年度より「計算力学技術者（CAE 技術者）」認定事業をスタートしました。

本年度も、固体力学分野の有限要素法解析技術者、熱流体力学分野の解析技術者、および振動分野の有限要素法解析技術者を対象とした 1 級、2 級の試験を実施致します。

### ■ 資格取得のメリット

技術者は本認定により、自身の技術レベルやキャリアの裏づけとすることができます。また、技術者を雇用する側では業務品質保証となることは勿論のこと、技術者の採用や教育、業務のアウトソーシングの際に、人材のレベルを測る尺度としても活用することができます。技術者のモチベーションや業務精度の向上は、技術者を取り巻く環境のサステナビリティを高めるものと言えるでしょう。既に認定を受けた技術者からは「自信を持って解析を行えるようになった」「顧客からの信頼度が向上した」「スキルアップしたことでモチベーションが向上した」等の意見が多数寄せられています。

### ■ これまでの試験の概要

2022 年まで既に 20 回の試験を実施し、上級・1 級・2 級・初級合わせて計 11,685 名の合格者を輩出しました。認定者は主に製造業界（電子・電機）、（自動車）（その他機械）、ソフトウェア業界（計算委託）（開発販売）等の第一線で活躍しています。また、上級・1 級・2 級の合格者は本事業委員会 HP に氏名を掲載しています。

### ■ CBT 試験

2021 年度より CBT（Computer Based Testing）方式を導入し、計算力学技術者認定試験を実施しております。試験会場運営はプロメトリック株式会社です。

CBT 方式の試験では、問題用紙や解答用紙を配付せず、コンピュータに問題が表示されます。解答は、選択肢からマウスで選択する形式やキーボードで解答を入力する形式など、いくつかの形式があります。本試験では、コンピュータに表示された試験問題に対し、マウス・キーボードを使って解答いただきます。画面には電卓や残り時間も表示されます。試験中は配布されたメモ用紙及び筆記用具が使用できます。

CBT 方式の受験の流れ・体験版につきましては、下記の HP を参考にご覧ください。

[https://www.prometric-jp.com/examinee/test\\_list/archives/4](https://www.prometric-jp.com/examinee/test_list/archives/4)

（※受験の流れと体験版は一般的な試験の代表的な例であり、一部の情報は本試験の申込や実際の試験画面とは異なる場合がございますのでご注意ください。）

試験で問われる内容は、試験方式による違いはございません。

運営を委託するプロメトリック株式会社との契約により、受験者は全国の同社指定の試験会場で試験開催日に開催し

2023年度1・2級

ている試験会場の中から、ご自分の都合にあう会場を選択することができます。ご自宅からPCを利用しての受験はできません。

試験会場の予約につきましては、プロメトリック株式会社の受付サイトからご予約となります。開催会場の情報開示及び会場予約は、試験開催日の約2か月前を予定しております。予約にはプロメトリック株式会社のプロメトリックIDの登録が必要です。開催会場であっても、満席の場合にはご予約いただくことができませんので、あらかじめご了承ください。

下記URLより試験運営を委託するプロメトリック株式会社のすべての試験会場検索が可能です。

<https://www.prometric-jp.com/examinee/hall/>

ご希望の会場でも本試験日に利用できない可能性がございますので、受験される地域の近隣会場も併せてご確認ください。

なお、試験実施日が異なる場合、分野間での同時受験（例：固体2級と振動2級）が可能です。

現在 計算力学を業務として活用されている方、あるいはこれから計算力学技術者を目指す方におかれましては、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 2 固体力学分野の有限要素法解析技術者（1 級および 2 級）

### 2.1 実施概要

#### ■ 認定試験

本試験において所定の成績を修めた方に、認定証を発行致します。

##### <試験実施日>

- ・ 固体力学分野 1 級 2023 年 12 月 1 日（金）
- ・ 固体力学分野 2 級 2023 年 12 月 8 日（金）

##### <試験時間>

- ・ 1・2 級いずれも 120 分
- ・ 受付時間：13:15～13:30（※厳守）
- ・ 開始時間：13:45

##### <試験会場>

- ・ 各自で予約したプロメトリック株式会社の試験会場

※CBT 試験は座席予約制のため、受付時間厳守で実施されます。集合時刻に遅れた場合は、いかなる理由においても受験することが出来ませんのでご注意ください。時間に余裕を持って会場にお越しください。

試験では、本会計算力学技術者資格認定事業委員会編集の標準問題集（解説付き）に準拠した内容の設問がなされますので、問題集を用いて十分に事前勉強をしてください。

#### ■ 受験資格

- ・ 2 級資格の認定においては、CAE ソフトウェアを用いた解析経験は必須であり、**事前の使用経験の認定**が必要となります。これは申請書類の提出によって認定されます。一度認定されればその後 5 年間有効です。ソフトウェア解析経験の認定に関しては、**4 種類**の認定規定があります。詳細は 5 ページをご参照ください。
- ・ 1 級試験に関しては、2 級資格を有していることが受験要件です。従いまして、今回 1 級試験を受けるためには、既に 2 級資格を有しているか、あるいは今回同時に 2 級試験を受けることが必要です。

#### ■ 認定レベル

計算力学技術者（固体 1・2 級）が認定するレベルは次の通りです。

##### 固体 2 級

基本的な固体力学の問題に対して、線形弾性の範囲において正しく解析問題を設定することができ、線形弾性の CAE 解析の内容を理解しており、さらに解析結果の信頼性を自分自身で検証することができる。よって、いずれかの信頼のおける CAE ソフトウェアを用いて適切な解析機能を選択しながら、基本的な線形弾性問題を大きく誤ることなく解けるものと期待できる。

##### 固体 1 級

固体力学分野の解析実務において、各種非線形性や線形破壊力学などを取り扱う有限要素解析の内容を理解しており、解析問題の設定や解析を適切に行うとともに、解析結果の信頼性を検証するプロセスを理解している。よって、いずれかの信頼のおける CAE ソフトウェアを用いて適切な解析機能を選択しながら、各種非線形性や線形破壊力学を取り扱う CAE 解析を、大きく誤ることなく解けるものと期待できる。

## ■ 合格の基準

- ・ 2級試験：全体の正答率が70%以上であり、かつ全問不正解の分野が2分野以下であること。
- ・ 1級試験：全体の正答率が50%以上であり、かつ正答率70%以上の分野が3分野以上、全問不正解の分野が2分野以下であること。

## ■ 標準問題集

試験では、本会計算力学技術者資格認定事業委員会編集の標準問題集（解説付き）に準拠した内容の設問がなされます。

- ・ 2級 第10版4刷（昨年度版より改訂なし）
- ・ 1級 第11版（改訂予定）

いずれも定価5,500円（消費税込）

7月下旬頃発売予定です。計算力学技術者資格認定試験HPの販売サイトリンクよりご購入ください。

## ■ 2級認定試験対策講習会

本会計算力学部門主催の2級認定試験対策講習会を実施致します。2級認定試験対策講習会は任意の受講となっております。対策講習会については学会トップページのイベント検索よりご確認ください。

## 2.2 ソフトウェア使用経験認定規定（固体）

### ■ 概要

固体力学分野の有限要素法解析技術者 2 級資格の認定においては、CAE ソフトウェアを用いた解析経験があることを前提としています。下記の認定規定(a)～(d)のいずれか 1 つを満足された方には解析経験を認定致します。

	認定規定	認定要件	提出書類について
(a)	公認 CAE 技能講習会（固体力学分野）の受講による認定	本会が認定した CAE ベンダー等が実施する公認 CAE 技能講習会（固体力学分野）の受講修了をもって、CAE ソフトウェアの解析経験を認定します。（2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日までに実施された講習会のみ有効です。）	本規定による認定を希望される方は、申込時に公認 CAE 技能講習会（固体力学分野）の受講証明書を提出してください。
(b)	実務経験による認定	固体力学分野の有限要素法解析に関する 3 年以上の実務経験のある方については、実務経験に関する証明書類（様式 1）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、CAE ソフトウェアの解析経験を認定します。実務経歴には修士ないし博士課程での経験も含めることができますが、 <u>学部での経験は認められません。</u>	様式 1 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(c)	学位による認定	固体力学分野の有限要素法解析に関するテーマで <u>修士ないしは博士の学位を取得された方</u> （2024 年 3 月取得見込みを含む）については、学位に関する証明書類（様式 2）、または学位論文名のある学位記、あるいは学位記と学位論文名のわかる書類（例えば学位論文の表紙など）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、CAE ソフトウェアの解析経験を認定します。	様式 2 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(d)	付帯講習（技能編）受講完了証明書・免除証明書、ソフトウェア使用経験認定証明書による認定	「2018 年以降」の 2 級資格認定事業において実施された付帯講習（技能編）を既に受講された方は、CAE ソフトウェアの解析経験を認定します。また、「2018 年以降」の試験において既に CAE ソフトウェアの解析経験の認定を受けている方についても同様です。この認定は一度取得するとその後 5 年間有効となります。	本規定による認定を希望される方は、申込時に「付帯講習（技能編）受講完了証明書」、「付帯講習（技能編）証明書」、または「解析ソフトウェア使用経験認定証明書」を提出してください。

固体力学分野の 2023 年度試験において、CAE ソフトウェア解析経験の認定対象となるのは「2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日」までに実施された公認 CAE 技能講習会です。受講日が対象期間外のものは認定対象とはなりませんのでご注意ください。

公認 CAE 技能講習会の実施団体一覧は本事業委員会 HP に掲載しています。また、公認 CAE 技能講習会に関するお問い合わせは、その講習会を実施している団体へお願い致します。

なお、固体力学分野 2 級の付帯講習技能編は終了いたしました。詳しくはこちらをご確認ください。

<https://www.jsme.or.jp/cee/news/2022/05/1736>

### ■ 資格の有効期限切れもしくは更新に代わる再受験に関する特例

資格認定の有効期限以降 5 年以内に試験を再受験する場合、または更新年度に更新申請に代えて受験する場合、認定規定（d）を特別に適用し、CAE ソフトウェア解析経験を認定します。申込時は規定（d）の指定する証明書に替えて「対象認定証の写し（PDF）」を提出してください。

## 3 熱流体力学分野の解析技術者（1 級および 2 級）

### 3.1 実施概要

#### ■ 認定試験

本試験において所定の成績を修めた方に、認定証を発行致します。

#### <試験実施日>

- ・ 熱流体力学分野 1 級 2023 年 12 月 1 日（金）
- ・ 熱流体力学分野 2 級 2023 年 12 月 7 日（木）

#### <試験時間>

- ・ 1・2 級いずれも 120 分
- ・ 受付時間：13:15～13:30（厳守）
- ・ 開始時間：13:45

#### <試験会場>

- ・ 各自で予約したプロメトリック株式会社の試験会場

※CBT 試験は座席予約制のため、受付時間厳守で実施されます。集合時刻に遅れた場合は、いかなる理由においても受験することが出来ませんのでご注意ください。時間に余裕を持って会場にお越しください。

試験では、本会計算力学技術者資格認定事業委員会編集の標準問題集（解説付き）に準拠した内容の設問がなされますので、問題集を用いて十分に事前勉強をしてください。

#### ■ 受験資格

- ・ 2 級資格の認定においては、熱流体解析ソフトウェアの使用経験があることが必須であり、**事前の使用経験の認定**が必要となります。これは申請書類の提出によって認定されます。一度認定されればその後 5 年間有効です。ソフトウェア使用経験の認定に関しては、**4 種類**の認定規定があります。詳細については 8 ページをご参照ください。
- ・ 1 級試験に関しては、2 級資格を有していることが受験要件です。従いまして、今回 1 級試験を受けるためには、既に 2 級資格を有しているか、あるいは今回同時に 2 級試験を受けることが必要です。  
1 級の単相流、混相流、燃焼流の分野は選択式で、試験会場申込時に一つの分野を指定する必要があります。試験当日の選択変更はできませんのでご注意ください。

#### ■ 認定レベル

計算力学技術者（熱流体 1・2 級）が認定するレベルは次の通りです。

#### 熱流体 2 級

基本的な流体力学、熱力学（伝熱学を含む）の問題に対して、単相の非圧縮性流／圧縮性流／層流／乱流の範囲において正しく解析問題を設定することができ、解析方法の内容を理解しており、さらに解析結果の信頼性を自分自身で検証することができる。よって、いずれかの信頼のおける CAE ソフトウェアを用いて適切な解析機能を選択しながら、基本的な熱流体問題を大きく誤ることなく解けるものと期待できる。

#### 熱流体 1 級

熱流体力学分野の解析実務において、単相流、混相流、燃焼流の解析内容を理解しており、解析問題の設定や解析を適切に行うとともに、解析結果の信頼性を検証するプロセスを理解している。よって、いずれかの信頼のおける

CAE ソフトウェアを用いて適切な解析機能を選択しながら、单相流、混相流、燃焼流を取り扱う CAE 解析を大きく誤ることなく解けるものと期待できる。

#### ■ 合格の基準

- ・ 2 級試験：全体の正答率が 70%以上であり、かつ全問不正解の分野が 2 分野以下であること。
- ・ 1 級試験：全体の正答率が 50%以上であり、かつ正答率 70%以上の分野が 3 分野以上、全問不正解の分野が 2 分野以下であること。

#### ■ 標準問題集

- ・ 2 級 第 6 版 2 刷（昨年度版から改訂なし）
- ・ 1 級 第 5 版 2 刷（昨年度版から改訂なし）

いずれも定価 5,500 円（消費税込）

7 月下旬発売予定です。計算力学技術者資格認定試験 HP の販売サイトリンクよりご購入ください。

#### ■ 2 級認定試験対策講習会

本会計算力学部門、流体工学部門、熱工学部門の 3 部門が合同で主催する 2 級認定試験対策講習会を実施致します。2 級認定試験対策講習会は任意の受講となっております。

対策講習会については学会トップページのイベント検索よりご確認ください。

### 3.2 ソフトウェア使用経験認定規定（熱流体）

#### ■ 概要

熱流体力学分野の解析技術者 2 級資格の認定においては、熱流体解析ソフトウェアの使用経験があることを受験の前提としています。下記の認定規定(e)～(h)のいずれか 1 つを満足された方には使用経験を認定致します。

	認定規定	認定要件	提出書類について
(e)	公認 CAE 技能講習会（熱流体力学分野）の受講による認定	本会が認定した CAE ベンダー等が実施する公認 CAE 技能講習会（熱流体力学分野）の受講修了をもって、熱流体解析ソフトウェアの使用経験を認定します。（2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日までに実施された講習会のみ有効です。）	本規定による認定を希望される方は、申込時に公認 CAE 技能講習会（熱流体力学分野）の受講証明書を提出してください。
(f)	実務経験による認定	熱流体力学分野の数値解析に関する 3 年以上の実務経験のある方については、実務経験に関する証明書類（様式 3）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、熱流体解析ソフトウェアの使用経験を認定します。実務経歴には修士ないし博士課程での経験も含めることができますが、 <u>学部での経験は認められません。</u>	様式 3 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(g)	学位による認定	熱流体力学分野の数値解析に関するテーマで <u>修士ないしは博士の学位</u> を取得された方（2024 年 3 月取得見込みを含む）については、学位に関する証明書類（様式 4）、または学位論文名のある学位記、あるいは学位記と学位論文名のわかる書類（例えば学位論文の表紙など）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、熱流体解析ソフトウェアの使用経験を認定します。	様式 4 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(h)	ソフトウェア使用経験認定証明書による認定	「2018 年以降」の試験において既に熱流体解析ソフトウェア使用経験の認定を受けている方は、その認定をもって今年度試験の認定とすることができます。この認定は一度取得するとその後 5 年間有効となります。	本規定による認定を希望される方は、申込時に「解析ソフトウェア使用経験認定証明書」を提出してください。

熱流体力学分野の 2023 年度試験において、熱流体解析ソフトウェアの使用経験の認定対象となるのは「2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日」までに実施された公認 CAE 技能講習会です。受講日が対象期間外の場合は認定対象とはなりませんのでご注意ください。

公認 CAE 技能講習会の実施団体一覧は本事業委員会 HP に掲載しています。また、公認 CAE 技能講習会に関するお問い合わせは、その講習会を実施している団体へお願い致します。

#### ■ 資格の有効期限切れもしくは更新に代わる再受験に関する特例

資格認定の有効期限以降 5 年以内に試験を再受験する場合は、認定規定（h）を特別に適用し、熱流体解析ソフトウェアの使用経験を認定します。申込時は規定（h）の指定する証明書に替えて「対象認定証の写し（PDF）」を提出してください。

## 4 振動分野の有限要素法解析技術者（1級および2級）

### 4.1 実施概要

#### ■ 認定試験

本試験において所定の成績を修めた方に、認定証を発行致します。

#### <試験実施日>

- ・ 振動分野 1級 2023年12月1日（金）
- ・ 振動分野 2級 2023年12月7日（木）

#### <試験時間>

- ・ 1・2級いずれも 120分
- ・ 受付時間：13:15～13:30（※厳守）
- ・ 開始時間：13:45

#### <試験会場>

- ・ 各自で予約したプロメトリック株式会社の試験会場

※CBT 試験は座席予約制のため、受付時間厳守で実施されます。集合時刻に遅れた場合は、いかなる理由においても受験することが出来ませんのでご注意ください。時間に余裕を持って会場にお越しください。

試験では、本会計算力学技術者資格認定事業委員会編集の標準問題集（解説付き）に準拠した内容の設問がなされますので、問題集を用いて十分に事前勉強をしてください。

#### ■ 受験資格

- ・ 2級資格の認定においては、CAEソフトウェアの使用経験があることが必須であり、**事前の使用経験**の認定が必要となります。これは申請書類の提出によって認定されます。一度認定されればその後5年間有効です。ソフトウェア使用経験の認定に関しては、**5種類**の認定規定があります。詳細については11ページをご参照ください。
- ・ 1級試験に関しては、2級資格を有していることが受験要件です。従いまして、今回1級試験を受けるためには、既に2級資格を有しているか、あるいは今回同時に2級試験を受けることが必要です。

#### ■ 認定レベル

計算力学技術者（振動1・2級）が認定するレベルは次の通りです。

#### 振動 2 級

線形の剛体挙動および弾性挙動（音響を含む）を表す有限要素法の内容を理解した上で、基本的な振動工学（音響工学を含む）の問題に対して正しく計算条件を設定し、かつ計算モデルを構築することができ、さらに計算結果の信頼性を検証するための動力学および計測関連の知識を有している。よって、いずれかの信頼の置ける CAE ソフトウェアを用いて適切な計算機能を選択しながら、線形の自由振動および強制振動に関連した計算、具体的には、固有振動数計算、周波数応答計算、時刻歴応答計算を大きく誤ることなく実施できるものと期待できる。

#### 振動 1 級

高度な振動解析に関する知識を有し、計算結果の信頼性を確保するために必要な計測の技術を理解した上で、流体関連振動、音響関連振動などを含む各種振動の解析実務において、適切な問題設定ができ、かつ計算結果を自分

自身で検証できる。よって、いずれかの信頼の置ける CAE ソフトウェアを用いて適切な計算機能を選択しながら、剛体および弾性体の振動解析（音響を含む）を適切に実施できるものと期待できる。

### ■ 合格の基準

- ・ 2 級試験：全体の正答率が 70%以上であり、かつ全問不正解の分野が 2 分野以下であること。
- ・ 1 級試験：全体の正答率が 50%以上であり、かつ正答率 70%以上の分野が 3 分野以上、全問不正解の分野が 2 分野以下であること。

### ■ 標準問題集

- ・ 2 級 第 5 版（改訂予定）
  - ・ 1 級 第 7 版（改訂予定）
- いずれも定価 5,500 円（消費税込）

7 月下旬頃発売予定です。計算力学技術者資格認定試験 HP の販売サイトリンクよりご購入ください。

### ■ 2 級認定試験対策講習会

本会機械力学・計測制御部門主催の 2 級認定試験対策講習会を実施致します。対策講習会は任意の受講となっておりますが、試験を受けられる方には是非受講をお勧めします。対策講習会については学会トップページのイベント検索よりご確認ください。

## 4.2 ソフトウェア使用経験認定規定（振動）

### ■ 概要

振動分野の有限要素法解析技術者 2 級資格の認定においては、CAE ソフトウェアの使用経験があることを受験の前提としています。下記の認定規定(i)～(m)のいずれか 1 つを満足された方には使用経験を認定致します。

	認定規定	認定要件	提出書類について
(i)	公認 CAE 技能講習会（振動分野）の受講による認定	本会が認定した CAE ベンダー等が実施する公認 CAE 技能講習会（振動分野）の受講修了をもって、CAE ソフトウェアの使用経験を認定します。（2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日までに実施された講習会のみ有効です。）	本規定による認定を希望される方は、申込時に公認 CAE 技能講習会（振動分野）の受講証明書を提出してください。 ※固体力学分野の修了証は該当しません。
(j)	実務経験による認定	振動分野の数値解析に関する 3 年以上の実務経験のある方については、実務経験に関する証明書類（様式 5）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、CAE ソフトウェアの使用経験を認定します。実務経歴には修士ないし博士課程での経験も含めることができますが、学部での経験は認められません。	様式 5 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(k)	学位による認定	振動分野の数値解析に関するテーマで <u>修士ないしは博士の学位</u> を取得された方（2024 年 3 月取得見込みを含む）については、学位に関する証明書類（様式 6）、または学位論文名のある学位記、あるいは学位記と学位論文名のわかる書類（例えば学位論文の表紙など）を提出頂き、本会の認定委員会で承認すれば、CAE ソフトウェアの使用経験を認定します。	様式 6 は申込後に「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」にて作成することができます。
(l)	固体力学分野の資格認定による認定	固体力学分野 2 級以上の認定者に CAE ソフトウェアの使用経験を認定します。	本規定による認定を希望される方は、申込時に固体力学分野 2 級以上の認定証（有効期限内のものに限る）を提出してください。
(m)	ソフトウェア使用経験認定証明書による認定	「2018 年以降」の試験において既に CAE ソフトウェア使用経験の認定を受けている方は、その認定をもって今年度試験の認定とすることができます。この認定は一度取得するとその後 5 年間有効となります。	本規定による認定を希望される方は、申込時に「解析ソフトウェア使用経験認定証明書」を提出してください。

振動分野の 2023 年度試験において、CAE ソフトウェアの使用経験の認定対象となるのは「2018 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日」までに実施された公認 CAE 技能講習会です。受講日が対象期間外のものとは認定対象とはなりませんのでご注意ください。

公認 CAE 技能講習会の実施団体一覧は本事業委員会 HP に掲載しています。また、公認 CAE 技能講習会に関するお問い合わせは、その講習会を実施している団体へお願い致します。

### ■ 資格の有効期限切れもしくは更新に代わる再受験に関する特例

資格認定の有効期限以降 5 年以内に試験を再受験する場合は、認定規定（m）を特別に適用し解析ソフトウェアの使用経験を認定します。申込時は規定（m）の指定する証明書に替えて「対象認定証の写し（PDF）」を提出してください。

## 5 受験手続

### 5.1 認定までの流れ

計算力学個人ページ作成	随時作成可能。計算力学個人ページのID・パスワードを取得してください。
↓	
受験申込	申込期間：7月25日（火）～8月10日（木）23:59まで ※個人ページにログイン後、メニューの「お申し込み」より申込を行ってください。 ※申込状況により期間を変更する場合があります。
↓	
受験書類提出	提出期間：Web申込後～8月22日（火）23:59まで ※「お申し込み」完了後、メニューの「受験申請書類」にお進みください。
↓	
受験料支払（コンビニ払い）	支払案内メール受信後～8月22日（火） 支払案内メールはWeb登録の確認後、順次お送り致します。 （登録後数日～1週間程度）
↓	
受験会場予約	試験日約2か月前より開始予定 Web申込・試験料払込が完了し、受験資格が確認できた方へ予約方法を通知します。各会場の席には限りがございますのでお早めにご予約ください。 予約後も会場の変更は可能です。 ※会場申込時にプロメトリック株式会社のプロメトリックIDの登録が必要です。
↓	
（試験対策講習会）★	9月～11月 ※振動は1日間、固体・熱流体は2日間の講習予定です。
↓	
認定試験	12月1日（金）固体力学分野・熱流体力学分野・振動分野 1級 12月7日（木）熱流体力学分野・振動分野 2級 12月8日（金）固体力学分野 2級 ※各日ともに受付時間は13:15～13:30
↓	
（2024年）	
合否発表	3月上旬～中旬（予定） 郵送での通知を予定しています。
↓	
認定申請	3月中旬～3月下旬（予定） 合格者向けに手続き方法を通知します。
↓	
認定証到着	4月中旬（予定）
↓	
合格者氏名掲載	ホームページ上に掲載（予定）

★希望者のみ

上記のスケジュールは一部変更となる場合もございます。本事業委員会 HP または「計算力学技術者（CAE 技術者）個人ページ」を適宜ご確認ください。

## ■ 2023年度各種申込期間

- Web 申込期間 7月25日(火)～8月10日(木) 23:59まで
- 書類提出期間 Web 申込後～8月22日(火) 23:59まで
- 試験料払込期間 支払案内メール受信後～8月22日(火)  
支払案内メールは事務局にて Web 申込の確認後、順次お送り致します。  
(受付後数日～1週間程度)
- 会場申込 試験日の約2か月前より開始予定  
Web 申込・試験料払込が完了し、受験資格が確認できた方へ予約方法を通知します。各会場の席には限りがございますので早めにご予約ください。会場の変更は予約後にも可能です。  
※会場申込時にプロメトリック株式会社のプロメトリックIDの登録が必要です。

## 5.2 受験申請

### ■ 受験申請書類 (2級受験のみ・併願受験を含む)

2級受験時にはソフトウェア使用経験認定のため下記書類の提出が必要です。

1級のみ受験の場合、提出書類はありません(2級併願の場合を除く)

分野	認定規定	提出条件	備考
固体	a.公認 CAE 技能講習会(固体力学分野)修了証 <sup>1)</sup>	a～dの どれか一つ を提出	スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg
	b.実務経験に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式1にて作成→PDF
	c.学位に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式2にて作成→PDF スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg、zip も可
	d.過去の試験における付帯講習(技能編)の受講完了証明書・免除証明書・ソフトウェア使用経験認定証明書		スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg
熱流体	e.公認 CAE 技能講習会(熱流体力学分野)修了証 <sup>1)</sup>	e～hの どれか一つ を提出	スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg
	f.実務経験に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式3にて作成→PDF
	g.学位に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式4にて作成→PDF スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg、zip も可
	h.過去の試験におけるソフトウェア使用経験認定証明書		スキャンしたデータ→PDF
振動	i.公認 CAE 技能講習会(振動分野)修了証 <sup>1)</sup>	i～mの どれか一つ を提出	スキャンしたデータ→PDF ※固体力学分野の修了証は該当しません
	j.実務経験に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式5にて作成→PDF
	k.学位に関する証明書類 <sup>2)</sup>		様式6にて作成→PDF スキャンしたデータ→PDF または jpeg・jpg、zip も可
	l.固体力学分野2級以上の認定証		スキャンしたデータ→PDF ※有効期限切れは認められません
	m.過去の試験におけるソフトウェア使用経験認定証明書		スキャンしたデータ→PDF

<sup>1)</sup>公認 CAE 技能講習会の実施団体が学校の場合、修了証は学校で発行の単位取得証明書でも構いません。

<sup>2)</sup>押印及び証明者の電話番号とメールアドレスの記入は必須とします。

## ■ 提出方法

「個人ページ」の「受験申請書類」よりデータでご提出ください。

書類により提出先フォルダが指定されていますので、提出先間違いにご注意ください。

提出画面にて提出済ファイルとして表示があれば提出（アップロード）完了となります。

## ■ 提出期限

2023年8月22日（火） 23:59まで

## 5.3 認定試験料・認定登録料

### ■ 認定試験料

1・2級いずれも 15,400円（消費税込）

### ■ 試験料の支払方法

支払案内メールは事務局にて Web 申込の確認後、順次お送り致します（受付後数日～1週間程度）。個人ページに登録されたメールアドレス宛へのご案内となりますので、必ず受信が確認できるメールアドレスをご登録ください。

E-mail 記載の専用リンク（ペリトランスの決済代行システム）より必要情報を入力の上、支払期限までにコンビニ決済を行ってください。

※決済代行システムの利用に当たり、支払いのお知らせは本会またはペリトランスの決済代行システムから発信されます。迷惑メール対策等でドメイン指定受信を設定されている場合に、メールが正しく届かない場合がございますので、あらかじめ以下の2つのドメインが受信できるように設定してください。

@jsme.or.jp

@veritrans.jp

（設定方法はご利用の携帯電話会社、メールサービスプロバイダにご確認ください。）

- ・ 振込手数料は申請者にご負担いただきます。
- ・ 一度振り込まれた認定試験料は、いかなる理由があっても返金できません。
- ・ 原則として請求書および領収書の発行は行いません。
- ・ 支払期限までに入金を確認できない方は受験のご意思がないものとみなします。Web 申込後、一週間以内に支払案内メールが届かない場合は、必ず事務局までお知らせください。

### ■ 認定登録料（試験合格者のみ）

1・2級いずれも 3,300円（消費税込）

認定登録料には、認定書の発行手数料及び登録データ管理料が含まれています。

支払方法は合格者に通知します。

認定登録をされない場合、認定番号が発行されませんのでご注意ください。

## 5.4 試験会場

運営を委託するプロメトリック株式会社との契約により、受験者は全国の同社指定の試験会場で試験開催日に開催している試験会場の中から、ご自分の都合にあう会場を選択することができます。ご自宅から PC を利用しての受験はできません。

下記 URL より試験運営を委託するプロメトリック株式会社のすべての試験会場検索が可能です。

<https://www.prometric-jp.com/examinee/hall/>

ご希望の会場でも本試験日に利用できない可能性がございますので、受験される地域の近隣会場も併せてご確認ください。

試験会場の予約はプロメトリック株式会社の受付サイトからご予約となります。会場予約は、試験開催日の約2か月前を予定しております。予約にはプロメトリック株式会社のプロメトリックIDの登録が必要です。開催会場であっても、満席の場合にはご予約いただくことができませんので、あらかじめご了承ください。

※受験会場予約期間中は希望会場の空きがあれば会場変更が可能です。会場予約期間終了後は申し込まれた会場以外での受験はできません。当日は受験会場を間違えないように十分ご注意ください。

## 5.5 受験会場での注意事項

- ・ CBT 試験は座席予約制のため受付時間厳守で実施されます。受付時間に遅れた場合は、いかなる理由においても受験することが出来ません。**受付時間までに必ず試験会場にお越しください。**  
※当日受験できない場合でも受験料金は返還できません。
- ・ 試験当日は受付で予約情報と本人確認書類に記載の情報および本人確認書類の顔写真と受験者のお顔を照合します。有効な本人確認書類をお持ちいただかない場合は受験することができません。  
有効な本人確認書類はプロメトリック HP よりご確認ください。  
[https://www.prometric-jp.com/examinee/test\\_list/archives/4](https://www.prometric-jp.com/examinee/test_list/archives/4)
- ・ 受験会場へは荷物の持ち込みが制限されます。電卓や腕時計の持ち込みも禁止です。  
※試験画面上で電卓の操作及び残り時間の確認が可能です。
- ・ 試験時はメモ用紙と筆記用具が貸し出されます。いずれも試験終了時に回収され、持ち帰りは禁止されています。
- ・ 次の事項に該当する場合は、理由のいかんにかかわらず受験できません。
  - 本人確認に必要な書類（コピー不可、有効期限内のものに限る）を提示できない場合
  - 申込みをした受験者本人以外の方である場合
  - 申込みをした試験会場でない場合、集合時間に遅刻した場合
  - 次の事項に該当する者の答案は、採点されません。
  - 監督員など係員の指示に従わない者（\*）
  - 不正行為をした者（\*）
  - 受験者端末の電源を切った者、ネットワークケーブルを抜いた者、マウス、キーボード等を試験会場の設備以外のものに変更した者
 （\*）直ちに退室を命じます。
- ・ 試験問題の内容や試験結果に関する質問にはお答えできません。
- ・ 試験室内は禁煙です。指定された場所以外では喫煙できません。試験会場によっては、全館禁煙のところがあります。
- ・ 試験会場における盗難、紛失について、試験会場では一切責任を負いません。

試験当日の注意事項の詳細は、受験者向けに改めてお知らせします。

## 5.6 受験時に特別な配慮が必要な方へ

車いすで受験される方や体の不自由な方など受験時に特別な配慮が必要な場合、受験お申し込みの際に下記担当宛に必ずご連絡ください。試験当日にお申し出いただいても対応できない場合がございますのでご注意ください。

会場内への持ち込み制限もございますので、ご不明点は担当者までご相談ください。

## 6 認定証の有効期限と更新

本認定の有効期限は認定証の発行より5年後の3月31日です。日々の計算力学解析業務等に関する更新審査を

2023 年度 1・2 級

受けて合格すれば、引き続き 5 年間有効となります。資格更新制度に関する詳細は本事業委員会 HP をご参照ください（「学会 TOP」→「イベント・事業」→「資格・認証・認定」→「計算力学技術者の資格認定」→「資格更新制度」）。

## 7 お問い合わせ先

一般社団法人 日本機械学会  
計算力学技術者（CAE 技術者）認定試験 担当職員／金子  
E-mail : caenintei@jsme.or.jp  
TEL : 03-4335-7616  
HP : <https://www.jsme.or.jp/cee/>

以上